

# PB-20 用設定ソフトウェア ユーザーズガイド

Windows95/NT4.0/2000 版

ジリオン・ネットワークス株式会社

## 設定アプリケーションソフトウェアの動作に必要なシステム

- コンピュータ本体  
Windows95、NT4.0 及び Windows2000 が稼動するパーソナルコンピュータ
- 基本ソフトウェア  
本体に対応した Windows95、WindowsNT Ver.4.0、もしくは Windows2000

## ご注意

1. 本書に記載されたソフトウェアは、ソフトウェア使用許諾契約の下で供給されます。
2. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
3. この製品および本書を使用したことによってシステムや機器に万一トラブルや故障が発生しても、弊社は原因の如何にかかわらず一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
4. この製品の仕様および本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
5. 製品の内容については万全を期していますが、ご不審の点や誤り、本書の記載漏れなどお気づきの点がありましたら、弊社までご連絡ください。

## 商標について

- Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

## (開発元)

ジリオン・ネットワークス株式会社  
大阪市淀川区西中島 4-5-18 〒532-0011  
新大阪エイトビル  
TEL 06-6300-0315 FAX 06-4805-0712  
E-mail support@zirion.co.jp  
URL <http://www.zirion.co.jp>

# 目 次

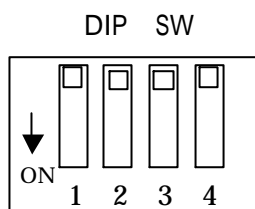
第1章 設定用ディップスイッチ .....	1
第2章 インストール.....	2
第3章 設定.....	3
第4章 タブシートの説明.....	6
1. COMMUNITYのページ	
2. SYSのページ	
3. IPのページ	
4. UPS_IDENTのページ	
5. TRAPのページ	
6. XUPSのページ	
7. XUPS ( BOX )のページ	
8. PORTのページ	
9. PASSWORDのページ	
第5章 パスワードの変更.....	16

本ソフトウェアを使用して、PB-20 のフラッシュメモリへ設定データを書込みます。以下の説明にしたがって、正しく使用してください。

## 第 1章 設定用ディップスイッチ

1 .PB-20 の設定用ディップスイッチは、ケース背面のシリアルコネクタ横にあります。

設定用ディップスイッチ部



出荷時は、すべて OFF に設定しています。

### ディップスイッチ 1

ON にするとデバッグモードになります。通常は OFF にしておきます。

### ディップスイッチ 3, 4

全て OFF。ON にしないでください。

### ディップスイッチ 2

ネットワークカードにデータを設定するときだけ ON にセットします。通常動作時は OFF にしておきます。

## 第2章 インストール

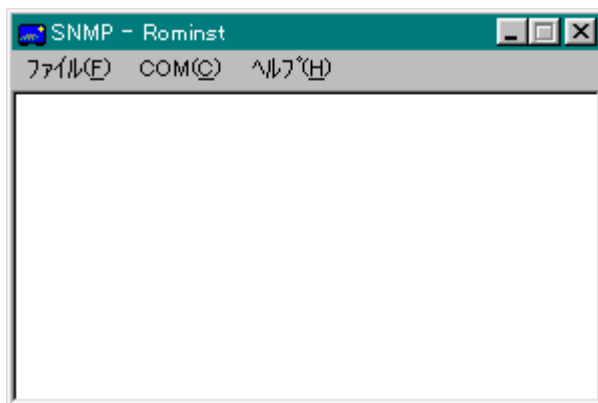
1. 使用するディスクドライブに任意のディレクトリ (フォルダ) を作成してください。  
(例) C:\PowerConf
2. 作成したディレクトリに「PB-20 用設定ソフトウェア」の CD の Rominst ディレクトリにあるファイルを全てコピーしてください。
3. このディレクトリの起動ファイル (Rominst.exe) をエクスプローラで表示させ、タスクバー上でマウスを右クリックし、プロパティを選んでください。
4. [スタート]メニューの設定を選び、[追加]ボタンを押してください。
5. [参照]ボタンを押して CD の Rominst ディレクトリのファイルをコピーしたディレクトリから「Rominst.exe」を選び、[次へ]ボタンを押してください。
6. ショートカットを保存するフォルダで「スタートメニュー」を選び、[次へ]を押し、最後に「完了」ボタンを押します。
7. これで設定ソフトの起動はタスクバーの「スタート」ボタンをクリック後、表示されるリストから起動することができます。

## 第3章 設定

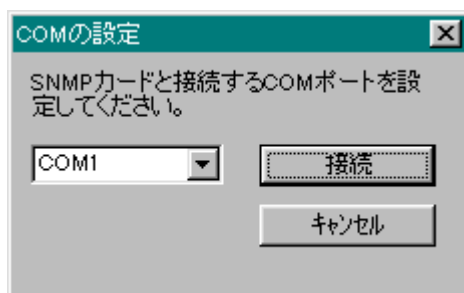
1. PB-20 に電気が供給されていない状態にします。
2. ディップスイッチの2 番だけを ON にします。  
2 番以外のディップスイッチは全て OFF のままにしておいてください。
3. コンピュータ側のCOM ポートとPB-20 のシリアルと表示された外部インタフェースコネクタ (DB-9 )を専用の通信ケーブルで接続します。

市販の RS-232C ケーブルを使用した場合、コンピュータもしくはPB-20 を損傷する おそれがあります。

4. 本ソフトウェア(Rominst.exe)を起動してください。以下のようなウィンドウが表示されます。



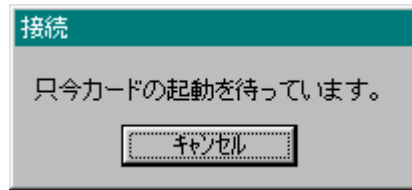
1. メニューバーより「COM」を選び「CONNECT」をクリックすると以下のような「COM の設定」ウィンドウが表示されます。ここではカードと接続した COM ポート番号を指定し、[接続] ボタンを押してください。



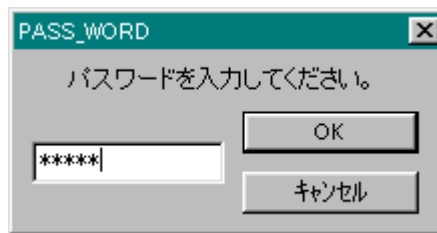
もし、COM ポートの設定が間違っていると次のようなメッセージが表示されます。この場合は再度 5. からポートの設定を行ってください。



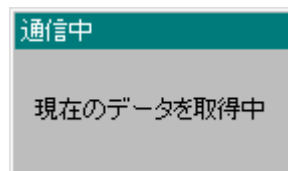
6.COM ポートの接続に成功すると次のようなウィンドウが表示されます。



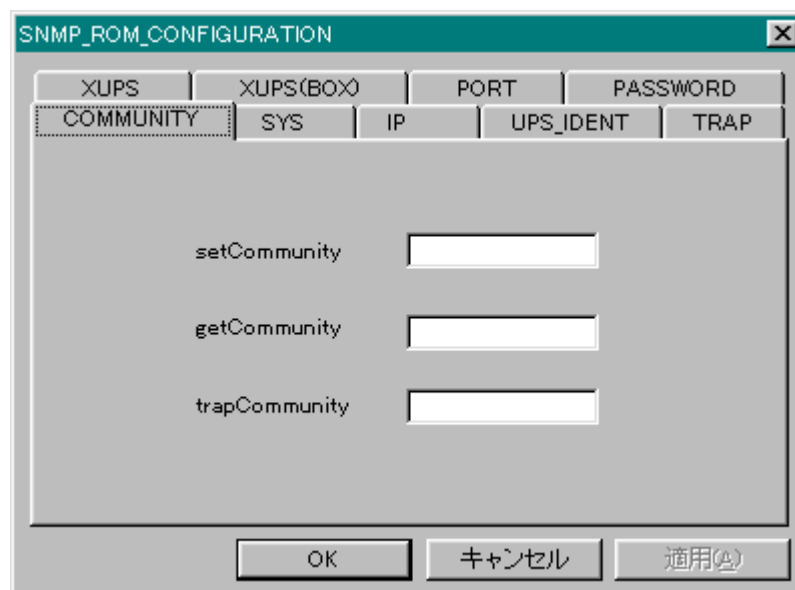
7.PB-20 に電気を供給します。しばらくすると、次のウィンドウが表示されます。初めてパスワードを入力する時には、出荷時のデフォルトのパスワード「magic」を入力します。次のウィンドウが表示されない場合は、一度 PB-20 の電源を抜いて、30秒ぐらいしてから再度差し込んでみてください。



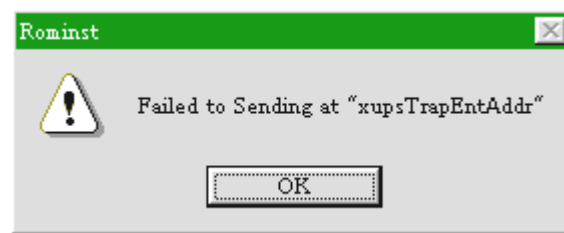
パスワードの照合に成功すれば次のウィンドウが表示され、カードの現在の設定値を読み出し、タブシート形式でその値を表示します。



8.表示されたウィンドウで変更するデータを入力し、[OK]ボタンを押すと、変更されたデータが PB-20 に書込まれます。各項目については、次章の「タブシートの説明」を参照してください。設定後、再度設定し直す場合は、再度 1.の手順から行ってください。



もしも、変更されたデータの書込みに失敗した場合、その失敗した項目毎に次のようなメッセージが表示されます。



書込みに失敗したデータは、再度 1.の手順から設定し直してください。

- 9 .必要とするデータの設定を終えたら、PB-20 の電源をコンセントから抜いて、装置に電気が供給されない状態にします。
- 10 .ディップスイッチの2番を ON から OFF に戻します。
- 11 . ネットワーク中継装置に接続された10Base-T ケーブルのコネクタを、PB-20 の10Base-T ソケットに差し込みます。
- 12 .PB-20 の電源をコンセントに差し込み、PB-20 の運転を開始します。

## 第4章 タブシートの説明

1 .COMMUNITY のページ (SNMP マネージャを使用しない場合は、変更する必要ありません)

SNMP エージェントに設定する set ,get ,trap それぞれの COMMUNITY を設定します。

デフォルト値は set : private , get : public , trap : public 。

The screenshot shows a dialog box titled "SNMP\_ROM\_CONFIGURATION" with a close button (X) in the top right corner. The dialog has a tabbed interface with the following tabs: XUPS, XUPS(BOX), PORT, PASSWORD, COMMUNITY, SYS, IP, UPS\_IDENT, and TRAP. The "COMMUNITY" tab is selected. Below the tabs, there are three text input fields: "setCommunity" with the value "private", "getCommunity" with the value "public", and "trapCommunity" with the value "public". At the bottom of the dialog, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

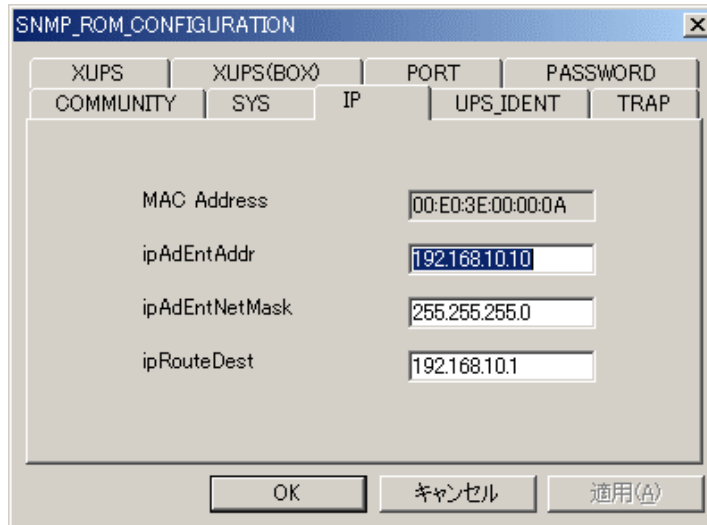
2 .SYS のページ (SNMP マネージャを使用しない場合は、変更する必要ありません)

このページは、SNMP system MIB の各項目を設定するページです。

但し、sysDescr の項目は変更できません。

The screenshot shows the same "SNMP\_ROM\_CONFIGURATION" dialog box, but with the "SYS" tab selected. The "sysDescr" field contains the text "ZIRION Network Card; CPU SH-2". The "sysContact" field contains "support@zircon.co.jp". The "sysName" field contains "Noname". The "sysLocation" field contains "Nowhere". The "OK", "キャンセル", and "適用(A)" buttons are visible at the bottom.

### 3 .IP のページ



The image shows a dialog box titled "SNMP\_ROM\_CONFIGURATION" with a close button (X) in the top right corner. It has a tabbed interface with the following tabs: XUPS, XUPS(BOX), PORT, PASSWORD, COMMUNITY, SYS, IP, UPS\_IDENT, and TRAP. The "IP" tab is selected. The dialog contains four input fields:

MAC Address	00:E0:3E:00:00:0A
ipAdEntAddr	192.168.10.10
ipAdEntNetMask	255.255.255.0
ipRouteDest	192.168.10.1

At the bottom, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

MAC Address

PB-20 の MAC アドレスです。 この値は変更できません。

ipAdEntAddr

PB-20 の IP アドレスを指定します。

ipAdEntNetMask

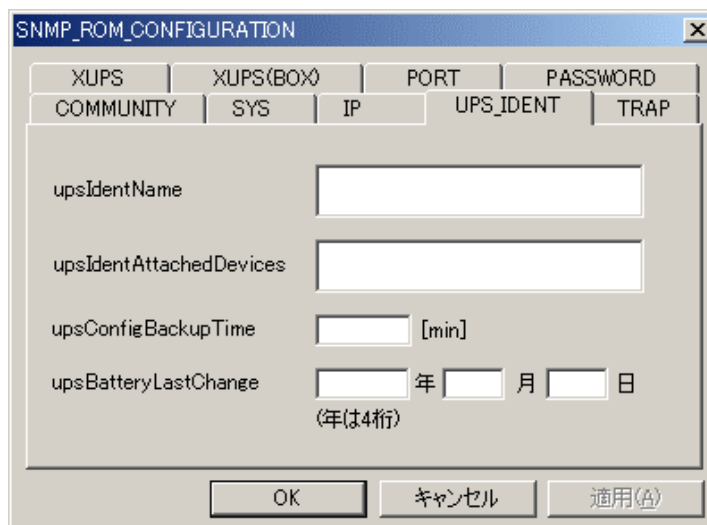
PB-20 のネットマスクを指定します。

ipRouteDest

デフォルトゲートウェイアドレスを指定します。

### 4 .UPS\_IDENT のページ (SNMP マネージャを使用しない場合は、変更する必要ありません)

このページは、UPS に関する各項目を指定するページです。



The image shows the same "SNMP\_ROM\_CONFIGURATION" dialog box, but with the "UPS\_IDENT" tab selected. The dialog contains four input fields:

upsIdentName	<input type="text"/>
upsIdentAttachedDevices	<input type="text"/>
upsConfigBackupTime	<input type="text"/> [min]
upsBatteryLastChange	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 (年は4桁)

At the bottom, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

5 .TRAP のページ (SNMP マネージャを使用しない場合は、変更する必要ありません)

The image shows a dialog box titled "SNMP\_ROM\_CONFIGURATION" with a close button (X) in the top right corner. The dialog has a tabbed interface with the following tabs: XUPS, XUPS(BOX), PORT, PASSWORD, COMMUNITY, SYS, IP, UPS\_IDENT, and TRAP. The "TRAP" tab is selected. Inside the dialog, there are two columns of input fields. The left column is labeled "xupsTrapEntAddr" and contains four numbered input boxes (1) through (4). The right column contains four numbered input boxes (5) through (8). Below these fields is a section labeled "snmpEnableAuthTraps" with two radio buttons: "Disable" (which is selected) and "Enable". At the bottom of the dialog are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

xupsTrapEntAddr

エージェントがトラップを送信する先の IP アドレスを指定します。

snmpEnableAuthTraps

authenticationFailureTrap (セキュリティ違反があった場合に発生するトラップ) の生成を許すか許さないかを指定します。デフォルトは「Enable」。

6 .XUPS のページ (変更する必要はありません)

The image shows a dialog box titled "SNMP\_ROM\_CONFIGURATION" with a close button (X) in the top right corner. The dialog has a tabbed interface with the following tabs: XUPS, XUPS(BOX), PORT, PASSWORD, COMMUNITY, SYS, IP, UPS\_IDENT, and TRAP. The "XUPS" tab is selected. Inside the dialog, there are two input fields. The first is labeled "xupsMonitorInterval" and has a value of "10" entered. The second is labeled "xupsAlarmInterval" and has a value of "5" entered. At the bottom of the dialog are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

xupsMonitorInterval

UPS 正常時に、PB-20 が UPS をモニタする間隔 (単位 秒)。  
デフォルト値は「10」秒。

xupsAlarmInterval

UPS 異常時に、PB-20 が UPS をモニタする間隔 (単位 秒、未使用)。

## 7.XUPS(BOX)のページ

The image shows a dialog box titled "SNMP\_ROM\_CONFIGURATION" with a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into several sections. At the top, there are tabs for "COMMUNITY", "SYS", "IP", "UPS\_IDENT", and "TRAP". Below these, there are sub-sections for "XUPS" and "XUPS(BOX)". The "XUPS(BOX)" section is active and contains a table of configuration fields. The fields are arranged in two columns. The first column contains: "MonitorPort[Dec]" (with a text box containing "12005"), "MonitorOut", "OnBatIn", "LoBatIn", and "NoBatIn". The second column contains: "Fault1In", "Fault2In", "Fault3In", "ShutdownOut", and "PulseWidth[Dec]". Below these columns is a field for "PowerBoxShutdownDelay[Dec]". At the bottom of the dialog, there are three buttons: "OK", "キャンセル", and "適用(Alt)".

COMMUNITY	SYS	IP	UPS_IDENT	TRAP
XUPS	XUPS(BOX)	PORT	PASSWORD	
xupsPowerBox~				
注: 0000 - ffff[HEX]で入力 [DEC]は10進数入力				
MonitorPort[Dec]	12005	Fault1In		
MonitorOut		Fault2In		
OnBatIn		Fault3In		
LoBatIn		ShutdownOut		
NoBatIn		PulseWidth[Dec]		
PowerBoxShutdownDelay[Dec]				

### MonitorPort

ネットワーク経由で PB-20 の UPS 状態を受け取るための UDP ポート番号です。監視する側のソフトの設定されているUDP ポート番号と同じにしてください。デフォルト値 「12005」。

### MonitorOut

UPS の状態データを取るための出力信号を設定します (脚注)。

### OnBatIn

UPS の停電状態をとるための設定です (脚注)。

### LoBatIn

UPS のバッテリー低電圧状態をとるための設定です (脚注)。

### NoBatIn

UPS のバッテリーの放電終止状態をとるための設定です (脚注)。

### Fault1In

UPS の故障状態をとるための設定です (脚注)。

### Fault2In

UPS の故障状態をとるための設定です (脚注)。

### Fault3In

UPS の故障状態をとるための設定です (脚注)。

### ShutdownOut

UPS への停止信号を発生させるための設定です (脚注)。

### PulseWidth

UPS への停止パルス信号の長さを指定します (脚注)。

### PowerBoxShutdownDelay

PB-20 の状態を監視している全てのコンピュータからの停止命令を受け取ってから停止信号を発生させるまでの時間です。

注 : これらの各値は、ご使用の UPS に合わせて出荷前に設定してあります。  
できるだけ、変更しないでください。

## 8 .PORT のページ (変更できません)

The image shows a dialog box titled "SNMP\_ROM\_CONFIGURATION" with a close button (X) in the top right corner. The dialog has a tabbed interface with the following tabs: COMMUNITY, SYS, IP, UPS\_IDENT, TRAP, XUPS, XUPS(BOX), PORT, and PASSWORD. The "PORT" tab is currently selected and highlighted. Below the tabs, there are two sections for configuring ports, labeled "[PORT 1]" and "[PORT 2]". Each section contains four groups of controls: "Speed" (a dropdown menu set to "2400"), "StopBits" (radio buttons for "1" and "2", with "1" selected), "Parity" (radio buttons for "None", "Odd", and "Even", with "None" selected), and "Bits" (radio buttons for "7" and "8", with "8" selected). At the bottom of the dialog, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用(A)" (Apply).

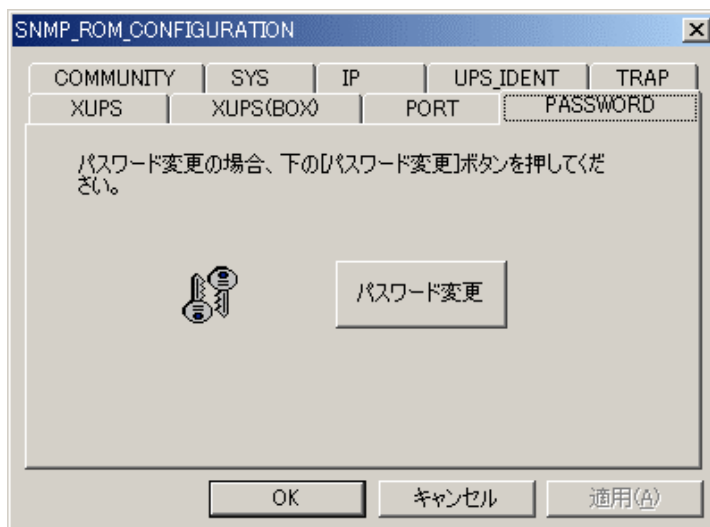
PB-20 の外部インタフェースポート(PORT1。PORT2 は未使用)の Speed ,StopBits ,Parity ,Bits を指定します。このページは参照のみです、変更することはできません。

## 9 .PASSWORD のページ

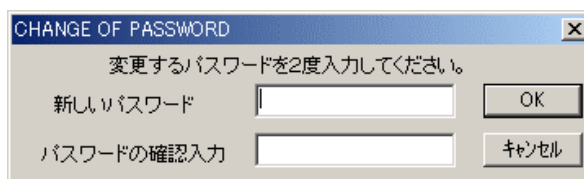
このページでは、パスワードの変更を行います。詳細は次の章で説明します。

## 第6章 パスワードの変更

パスワードの変更は、タブシートの PASSWORD のページで行います。



PASSWORD のページで [パスワード変更] ボタンをクリックし、次のウィンドウを表示させます。



このウィンドウで変更するパスワードを「新しいパスワード」、「パスワードの確認入力」それぞれ 2 ヶ所同じ文字列を入力してください。入力された 2 ヶ所の新しいパスワードが一致するとタブシートの [OK] ボタンをクリックにより、パスワード変更が行われます。[キャンセル] ボタンをクリックするとパスワードの変更は無効になります。

ここで 2 つのパスワードが異なると次のようなメッセージを表示します。再度変更するパスワードを入力してください。

